

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
就労支援サービス		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
手塚 恵	講師控室	kyoumu	授業終了後に質問など受付		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉「働くこと」の意味を医療・福祉及び社会的な背景の視座から捉え、専門職による就労支援について実践的な理解を深めることを目的とする。</p> <p>〈概要〉教科書を中心に講義を行い、グループワークを行うことで学生が具体的なイメージを持てるように授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	生活の基盤となる就労について、我が国の経済情勢や労働に関する情報について積極的に関心をもち、主体的に調べることで、理解を深めてほしい。				
教科書	社会生活支援のためのリハビリテーション医学・医療テキスト第1版/監修：日本リハビリテーション医学教育推進機構・日本リハビリテーション医学会/医学書院				
参考書	なし。				
外部教材	なし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	就労支援が求められる背景について理解し、説明することができる。			HSU(2)、(5)、(6)	
②	労働に関する法律と制度について理解し、説明することができる。			HSU(2)、(5)	
③	就労支援が必要な対象者と社会背景について理解し、説明することができる。			HSU(2)、(3)、(5)	
④	就労支援にかかる組織・団体の役割と実際について理解し、説明することができる。			HSU(2)、(3)、(4)	
⑤	就労支援に係る専門職として求められる価値観・視点などを理解し、言語化できる。			HSU(1)、(2)、(3)、(5)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の目的、進め方の説明。評価方法。他) について理解する。就労支援サービスの全体像を理解する。	講義	内容の確認を行う。	2	
2	社会での活動について考える。	講義 グループワーク	教科書(p2-10)を精読する。	4	
3	社会での活動を促進するために！について学ぶ。①	講義 グループワーク	教科書(p11-19)を精読する。	4	
4	社会での活動を促進するために！について学ぶ。②	講義 グループワーク	教科書(p20-30)を精読する。	4	
5	社会での活動を促進するために！について学ぶ。③	講義 グループワーク	教科書(p31-36)を精読する。	4	
6	障害と就労・就労支援について学ぶ。①	講義 グループワーク	教科書(p38-47)を精読する。	4	
7	障害と就労・就労支援について学ぶ。②	講義 グループワーク	教科書(p48-55)を精読する。	4	
8	障害と就労・就労支援について学ぶ。③	講義 グループワーク	教科書(p56-71)を精読する。	4	
9	障害者とスポーツについて学ぶ。①	講義 グループワーク	教科書(p74-83)を精読する。	4	
10	障害者とスポーツについて学ぶ。②	講義 グループワーク	教科書(p84-92)を精読する。	4	
11	疾患・障害別アプローチのポイントについて学ぶ。①	講義 グループワーク	教科書(p94-102)を精読する。	4	
12	疾患・障害別アプローチのポイントについて学ぶ。②	講義 グループワーク	教科書(p103-111)を精読する。	4	
13	疾患・障害別アプローチのポイントについて学ぶ。③	講義 グループワーク	教科書(p112-119)を精読する。	4	
14	疾患・障害別アプローチのポイントについて学ぶ。④	講義 グループワーク	教科書(p120-127)を精読する。	4	
15	まとめ。	講義	配布資料を復習する。	6	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		80	0	0	0	20	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5	
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	5	25	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。 試験は講義で用いた教科書、配付プリントから出題する。予習と復習を行い、理解度を深め知識の定着を図ること。 ・試験形式(筆記試験) ・問題形式(選択式・記述式・穴埋め式など)				Teams 上に試験解答例を掲示する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	講義中に理解を深めるため、受講生間で小グループによるディスカッションやグループワークを実施する。リアクションペーパーを毎回提出してもらい、授業の理解度や学ぶ姿勢などを評価する。				質問事項の記載があれば次回講義中に説明を行いクラスで共有する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし。							
教員の実務経験	社会福祉士として高齢者分野や医療法人での実践経験 21 年。							
実践的授業の内容	教員が実践現場で出会った事例等を用い、実際の状況を理解できるよう工夫する。(事例は個人を特定できないように配慮する)							
そ の 他	【受講する際の注意事項】 ・本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。 ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は原則禁止する。							